



#### 決算期

3月31日

#### 利益配当金受領株主確定日

3月31日

#### 中間配当金受領株主確定日

9月30日

#### 定時株主総会

毎年6月

#### 基準日

定時株主総会については3月31日

(その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。)

#### 名義書換代理人

東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

#### 同事務取扱場所

東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

#### 郵便物送付先

〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

#### 電話お問合せ先

TEL (03) 5213-5213 (代表)

#### 同取次所

みずほ信託銀行株式会社 全国各支店

みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

#### 公告掲載新聞

日本経済新聞

#### ホームページアドレス

<http://www.takaratoys.co.jp/>

**TAKARA®**

**TAKARA®**

## 第51期 中間事業報告書

2004年4月1日～2004年9月30日

株主の皆さまへ／トップインタビュー

主力商品紹介／おもちゃ四方山話

セグメント別概況

トビックス／連結主要財務データ

連結財務諸表

単体財務諸表／新商品情報

株式の状況／会社概要／アンケート結果の報告

株主メモ



代表取締役社長

佐藤慶太

株主の皆さまには、日ごろより格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第51期中間事業報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期の連結業績につきましては、オリジナルコンテンツを基盤とした玩具領域事業を中核として、玩具とシナジーが高い大人向けのライフエンタテインメント事業の拡大を目指してまいりました。しかしながら、それぞれの市場を築くまでにはいたらず、事業の縮小や移管またはグループ外への譲渡などを行いました。玩具事業におきましては国内、海外とも計画に対し未達となり、また低回転在庫の整理を行うことにより、大幅な損失を計上することとなりました。

今後につきましては、この当中間期の大幅な損失計上により、経営方針の抜本的な見直しを行い「定番商品」の強化を図るべく事業の再構築を推進し、グループの中核である玩具事業のより一層の強化に努め、株主の皆さまのご期待に沿うよう全力を尽くしてまいっている所存です。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## T o p I n t e r v i e w

当中間期(平成16年4月1日~9月30日)の業績を振り返るとともに、対策と今後の見通しについてお聞かせください。

当中間期の業績は、海外売上の上の大幅減、国内事業も計画未達ということで、単体/連結ともに大きく落ち込みました。第3四半期に売上が集中する業界の特性もあり、下期に限ればプラスになりますが、通期では35億円の経常損失となる見通しです。計画を大きく下回り、株主の皆さまのご期待に応えることができなかったことを深くお詫び申し上げます。

業績悪化の一番の要因は、当社の主力である国内玩具事業がここ数年「ヒット商品/ヒット事業依存体質」に陥っていたということです。もちろんヒット商品を生み出していくことはとても重要なことですが、依存体質とは「1つのヒット商品が各商品ラインの計画未達の差分を埋め合わせする」という構造で、全体の結果としては売上・利益を確保できていたため、計画未達部門ごとにその要因を十分に分析してこなかった。その甘さが今回露呈したということだと考えています。

現在は、その反省から、部門ごとに現状をしっかりと分析し、対策を講じることで幅広い層のお客さまから支持を獲得し、ヒット商品の有無に左右され

ない強い体質を目指した根本的な体質改善を進めています。当期は大きなマイナスを計上することになりますが、これも「真の再建」に向けた変革の一過程であり、今までの膿を出したことで来期以降は本格的な業績回復を実現できると確信しています。

第二次中期経営計画(2004年3月期~2006年3月期)2年目を迎えた当期の取り組みのポイントについてお聞かせください。

第二次中期経営計画初年度から「変革」というスローガンを掲げ、さらに今年度は重点施策として「国内事業の立て直し」に取り組んできていますが、ここにきてやるべきことがかなり明確に再確認できました。

それは、我々の原点でありお客さまとの唯一の接点である「売り場」で、各キャラクター・各商品のもつ世界観をお客さまにしっかりと伝えていく仕組みを整えることです。

「リカちゃん」を例にとると、毎年テーマ設定がされ、それに基づく年間ラインナップでは、とても魅力的な世界を実現できている。

しかし、実際の売り場を見てみると、次々に送り出される新製品ばかりが売れて、その世界を作り出している周辺のアイテムは売れ残ってしまっていま

す。これでは、売り場に来たお客さまにリカちゃんの魅力的な世界観を伝えられないわけです。

ですから、今までのように「次々と新商品を出していく」という展開ではなく、それぞれの商品にとっての売り場がどうあるべきかについて考え、売り場のデータを基に商品開発や商品供給、マーケティングなどの戦略を一貫していき、結果としてじわじわと商品がヒットしていくように、「仕事の工程」から全て変えていく必要があると考えています。そして、この仕事の工程に合わせた組織を作るべく、体制の見直しを進めていきます。



「ライフエンタテインメント企業」構想に向けた取り組みと今後の展望についてお聞かせください。

「玩具を中核としたライフエンタテインメント企業を目指す」というビジョンは基本的に間違っていないと思います。ただ現時点では、国内玩具事業を徹底的に強化して、その発展形として周辺事業を推進するという形にシフトさせようと考えています。目指すというよりも、そこに挑戦しながら模索するという形ですね。ですからこれまで拡張してきた各事業の芽を、多面的に一気に展開するのではなく、「±0」(家電事業)のように現段階でも成功の可能性が高いと思われるものは残しつつ、そうでない事業に関しては一旦撤退するという含めて、一歩踏み込んだ検討を行っています。

今後の世界戦略についてお聞かせください。

北米については引き続き有望な市場として重要視していきますが、今後は中国市場の成長にも期待しております。既に三井物産(株)との共同事業で上海に拠点を構え、中国市場における直販体制を確立する準備を着々と進めております。これまで我々の海外売上のおほとんどはOEM供給で、前期のように伸長することもあれば中間期のように一気に落ち込むことも

あって、自分たちの意思でコントロールしづらかったのですが、この直販体制が実現すれば自分たちの意思の届く形で販売を推進することが可能となります。そして各国にネットワークを構築できれば、国内事業を強化し、コンスタントにヒット商品を生み出せる体制を構築することがそのまま世界戦略の推進につながっていくと考えています。

CSR(=企業の社会的責任)への取り組みについてお聞かせください。

環境保全や商品の安全性を確保するため、素材の発注の際などには当然のこととしてかなり厳密な基準を設けていますが、玩具メーカーとしてのCSRの本質はもっと違うところにあると思っています。私はいつも「子どもの成長に一番大事なのは感動体験で、感動体験が人格形成をしていく」と考えています。私たちが生み出すコンテンツによって子どもたちに何を与えていくかというところを社会的責任として重視しています。例えばバインブレードというコンテンツは、日本でもアジアでもヨーロッパでも北米でも、本当に世界中の子どもたちが遊んでくれました。たかがおもちゃと言われる方もいますが、私たちはバインブレードを通じて世界中の子どもたちに友達や家族との交流といった感動体験を与えることができているのだと自負しています。そこで

いかに良質な感動を与えるかということを重視して企業活動に採り入れていくことこそが、本質的な意味での社会貢献だと思っています。

最後に、株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

冒頭にも申し上げましたが、当中間期の業績は、株主の皆さまの期待を裏切る結果となり、期末配当についても見送らざるを得ない状況にあります。これについては、本当に申し訳なく思っております。しかし、ヒット商品が出なくても、安定的な利益を上げられる会社作りをするためには今しかない、という危機感をもっての決断であり、当期は大きな赤字を計上することになりますが、経営の根本が揺らいでいるということでは全くありません。しっかりと「改革」に取り組めば、立ち直りは早いはずだと思っていますし、その確信があるからこそその決断でもあります。この状況を真摯に受け止め、業績回復に向けて全力で取り組み、早期に復配できるよう努力してまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

＊ 主力商品紹介 ＊



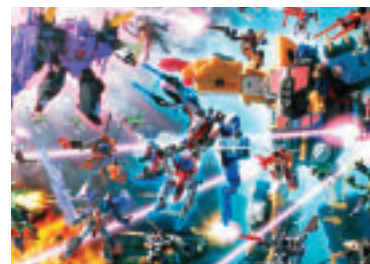
リカちゃん ハートヒルズマンション  
©TAKARA CO.,LTD.2004



e-kara mix ©TAKARA CO., LTD. 2004 ©2004 SSD CO., LTD.  
※本製品にはXavix®テクノロジーが使われています。  
Xavix®は、新世代株式会社の登録商標です。



ロボサビアン「ヒューマ」  
©2004 Wow Wee Ltd.All Rights Reserved



トランスフォーマー  
©2004 TAKARA・テレビ東京・NAS・ウィーヴ



電腦迷宮メガリス  
RADICA and Radica logo are registered trademarks of Radica Games Limited.All rights reserved.  
©TAKARA CO.,LTD.2004



おはなし地球儀スターターセット  
©TAKARA CO.,LTD.2004

＊ おもちゃ四方山話 ＊

「リカちゃん」は、実はハウスから誕生した…。この事実をご存知でしょうか。昭和40年代の初め、(株)タカラ初代社長(現・最高顧問)の佐藤安太は、香港の端華公司(三栄貿易・タカラ・アイデアルの合併企業)で輸出業務の総監督から、人形を入れるキャリングケースの売上が順調に伸びていると報告を受け、「タカラでもキャリングケースを作ろう」と決心しました。キャリングケース…つまり“人形で遊ぶための家”としての「ドリームハウス」を作ることです。これを基本コンセプトに、少女マンガ

のヒロインをイメージした人形作りが進められていきました。このドリームハウスの基本コンセプトは、①持ち歩ける、②遊びがその場でできる、③片付けが簡単、ということでした。これは、現在でも変わりありません。家具は応接セット。金型を使う必要のない発泡スチロールで、テーブルとソファを作り、レースのカーテンで柔らかさを出し、鏡をつける。内装は差し替え可能な背景にするなど、中流志向の日本人が憧れる、ちょっとハイソな世界観を表現していました。



初代リカちゃんハウス

## 玩具事業

国内市場では、男児玩具で、カードゲーム「デュエル・マスターズ」が好調を継続し前中間連結会計期間の売上を上回りましたが、女兒玩具、生活遊具及び一般玩具は前中間連結会計期間売上を下回りました。海外市場では前期売上を拡大した「ベイブレード」ブームが安定期に入り、売上が前中間連結会計期間から大幅に減少いたしました。その結果、当中間期の売上高は328億2千1百万円(前年同期比11.4%減)、営業損失が40億3千7百万円(前年同期は28億3千7百万円の営業利益)となりました。



デュエル・マスターズ  
TM and ©2004.wizards of the  
Coast/shogakukan,Mitsui/kids, shoPro

## アミューズメント事業

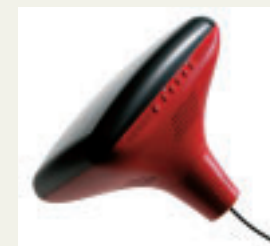
アミューズメント事業では、(株)タカラアミューズメントにおける施設の複合化の取り組み、及び前下期より連結子会社となった(株)アトラスの業務用アミューズメント機器事業・アミューズメント施設事業の業績の上乗せにより、売上及び利益ともに前年同期を上回りました。その結果、当中間期の売上高は、96億2千8百万円(前年同期比173.2%増)、営業利益は3億8千6百万円(前年同期比32.4%増)となりました。



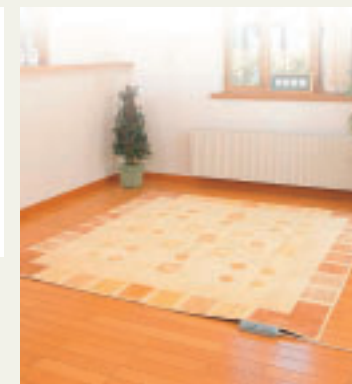
ゲームパニック大和【神奈川県大和市】((株)アトラス)

## 家電・電熱事業

家電・電熱事業ではプロダクトデザイナー 深澤直人氏との共同プロジェクトによる斬新なコンセプトの家電ブランド±0(プラスマイナスゼロ)を投入し販売を開始しましたが、生産の遅れから計画通りの成果をあげるには至っておりません。ブランド力の浸透と新規流通ルートの開拓をすべく10月には港区北青山にブランド家電販売の直営店をオープンさせました(次ページご参照)。その結果、当中間期の売上高は、33億7千2百万円(前年同期比1.0%減)、営業損失が4億9千5百万円(前年同期は2億7千3百万円の営業損失)となりました。



家電ブランド ±0(プラスマイナスゼロ)  
8インチ液晶テレビ  
©TAKARA CO.,LTD.2004



日本電熱(株)事業

## その他の事業

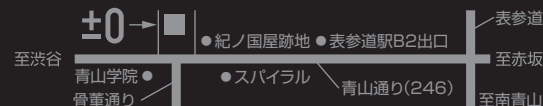
その他の事業としては、ホームセンター事業、電気自動車事業に(株)ワコーの自動車用品事業が加わりました。その結果、当中間期の売上高は、45億9千6百万円(前年同期比96.0%増)、営業損失が1億9千9百万円(前年同期は1億6千8百万円の営業損失)となりました。



カーアクセサリ用品((株)ワコー)

# ±0

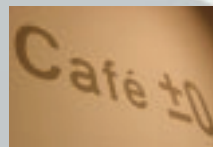
プロダクトデザイナー深澤直人が手掛ける  
家電・雑貨ブランド「±0」初の直営店  
「±0 青山本店」をオープン。



「±0 青山本店」では、話題の加湿器、ブラウン管のようなワイヤレス液晶テレビなど、発売中の「±0」プロダクトに加え、セカンドコレクションも展示、随時販売しております。その他「±0」の全てのデザインディレクションを行う深澤直人のデザインの源泉に触れる書籍や、「±0」がセレクトする商品、フランスのMOF（フランス国家最優秀職人）ショコラティエ パスカル・キャフェ氏制作のショコラなども取り扱っております。

また、併設するオリジナルカフェ「Cafe ±0」は、潤いのある豊かな時間と柔らかいコミュニケーション、心地よいひとときを楽しんでいただけるスペースになっております。

「±0 青山本店」では、定期的なイベントの開催や、クリスマス、バレンタインなどのギフト、「±0」セレクトによる商品の提案など、ブランドの様々なメッセージを発信していきます。



## ±0 AOYAMA

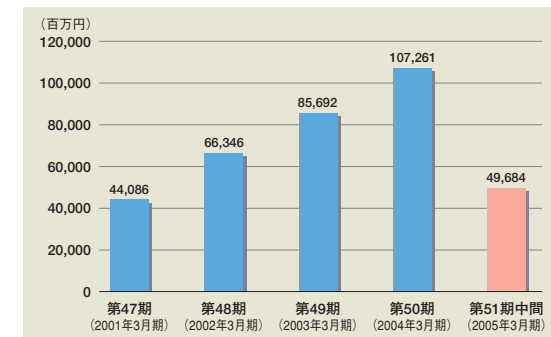
住所：東京都港区北青山3-12-12 HOLON-R  
Tel：03-5778-5380  
営業時間：11:00-19:00  
定休日：毎週水曜日  
HP：<http://www.plusminuszero.jp>

## Cafe ±0

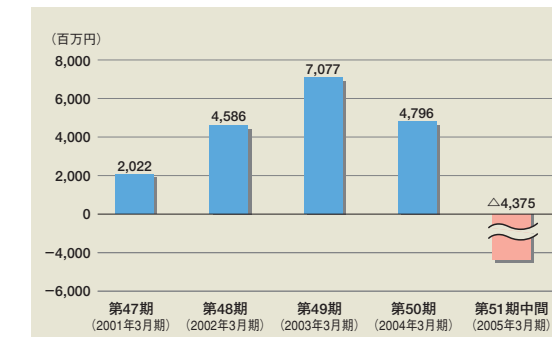
Open：11:00-21:00（水曜日定休 土・日・祝祭日は19:00まで）  
Bar Time（土・日・祝祭日は除く）  
17:00-Closed



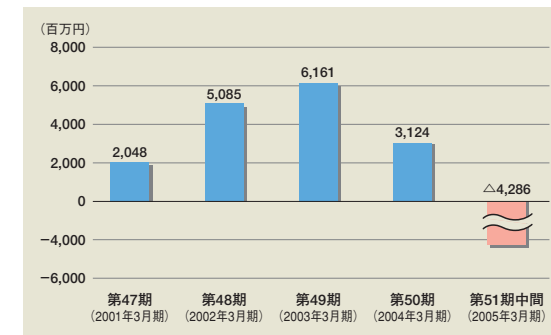
## 売上高



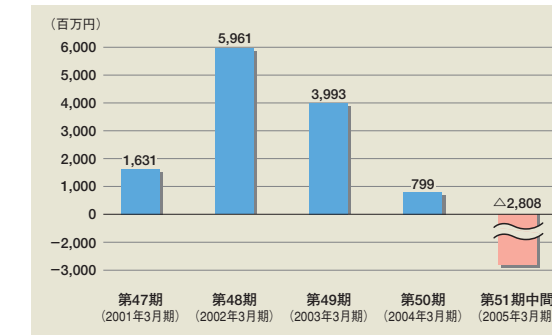
## 営業利益



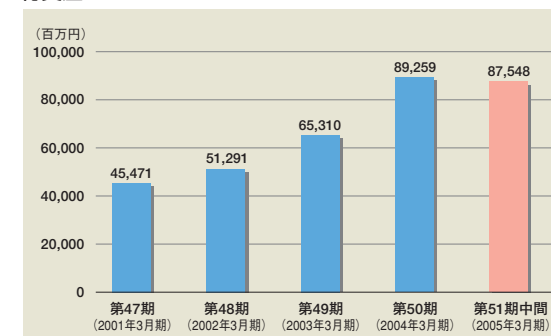
## 経常利益



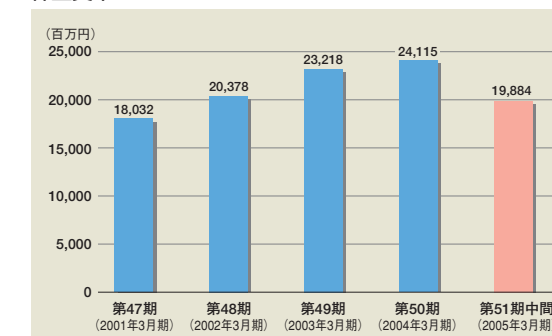
## 当期(中間)純利益



## 総資産



## 株主資本



貸借対照表(要旨)

| 科 目             | (単位:百万円)               |                        |                       |
|-----------------|------------------------|------------------------|-----------------------|
|                 | 当中間期<br>(2004年9月30日現在) | 前中間期<br>(2003年9月30日現在) | 前 期<br>(2004年3月31日現在) |
| <b>●資産の部</b>    |                        |                        |                       |
| <b>I 流動資産</b>   | <b>55,891</b>          | <b>44,085</b>          | <b>54,962</b>         |
| 現金及び預金          | 11,188                 | 9,084                  | 16,137                |
| たな卸資産           | 16,131                 | 10,671                 | 15,820                |
| その他             | 28,571                 | 24,328                 | 23,005                |
| <b>II 固定資産</b>  | <b>31,648</b>          | <b>26,806</b>          | <b>34,281</b>         |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>16,401</b>          | <b>13,696</b>          | <b>18,029</b>         |
| 建物及び構築物         | 6,306                  | 5,672                  | 7,706                 |
| 工具器具備品          | 4,498                  | 3,342                  | 5,129                 |
| 土地              | 4,513                  | 3,991                  | 4,520                 |
| その他             | 1,082                  | 689                    | 673                   |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>1,580</b>           | <b>1,498</b>           | <b>1,389</b>          |
| 投資その他の資産        | 13,665                 | 11,611                 | 14,862                |
| <b>III 繰延資産</b> | <b>7</b>               | <b>23</b>              | <b>15</b>             |
| <b>資産合計</b>     | <b>87,548</b>          | <b>70,914</b>          | <b>89,259</b>         |

【貸借対照表】

資産につきましては、連結子会社(株)タカラアミューズメントのアミューズメント施設事業の事業譲渡により固定資産等の減少、その対価として未収入金の増加及び当社の現預金の減少により、前連結会計年度末より17億1千1百万円減少いたしました。負債につきましては、仕入債務、当社における短期借入金などの増加により27億3千1百万円増加となりました。資本につきましては、中間純損失28億8百万円及びその他有価証券評価差額金の減少などにより42億3千1百万円の減少となりました。

| 科 目                    | (単位:百万円)               |                        |                       |
|------------------------|------------------------|------------------------|-----------------------|
|                        | 当中間期<br>(2004年9月30日現在) | 前中間期<br>(2003年9月30日現在) | 前 期<br>(2004年3月31日現在) |
| <b>●負債の部</b>           |                        |                        |                       |
| <b>I 流動負債</b>          | <b>42,394</b>          | <b>31,581</b>          | <b>37,252</b>         |
| 短期借入金                  | 20,667                 | 15,609                 | 16,872                |
| その他                    | 21,726                 | 15,972                 | 20,379                |
| <b>II 固定負債</b>         | <b>15,438</b>          | <b>13,735</b>          | <b>17,849</b>         |
| 社債                     | 7,490                  | 7,100                  | 7,620                 |
| 長期借入金                  | 1,973                  | 3,254                  | 3,616                 |
| その他                    | 5,975                  | 3,381                  | 6,613                 |
| <b>負債合計</b>            | <b>57,832</b>          | <b>45,317</b>          | <b>55,101</b>         |
| <b>●少数株主持分</b>         |                        |                        |                       |
| 少数株主持分                 | 9,831                  | 644                    | 10,042                |
| <b>●資本の部</b>           |                        |                        |                       |
| 資本金                    | 18,121                 | 18,121                 | 18,121                |
| 資本剰余金                  | 5,595                  | 5,595                  | 5,595                 |
| 利益剰余金                  | △1,315                 | 2,945                  | 1,907                 |
| 土地再評価差額金               | △1,494                 | △1,189                 | △1,493                |
| その他有価証券評価差額金           | 5                      | 572                    | 1,188                 |
| 為替換算調整勘定               | △250                   | △314                   | △425                  |
| 自己株式                   | △777                   | △777                   | △777                  |
| <b>資本合計</b>            | <b>19,884</b>          | <b>24,952</b>          | <b>24,115</b>         |
| <b>負債、少数株主持分及び資本合計</b> | <b>87,548</b>          | <b>70,914</b>          | <b>89,259</b>         |

損益計算書(要旨)

| 科 目                                   | (単位:百万円)                          |                                   |                                  |
|---------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
|                                       | 当中間期<br>自2004年4月1日<br>至2004年9月30日 | 前中間期<br>自2003年4月1日<br>至2003年9月30日 | 前 期<br>自2003年4月1日<br>至2004年3月31日 |
| <b>売上高</b>                            | <b>49,684</b>                     | <b>45,948</b>                     | <b>107,261</b>                   |
| 売上原価                                  | 37,835                            | 32,798                            | 76,501                           |
| 売上総利益                                 | 11,848                            | 13,150                            | 30,759                           |
| 販売費及び一般管理費                            | 16,223                            | 10,643                            | 25,963                           |
| <b>営業利益又は営業損失(△)</b>                  | <b>△4,375</b>                     | <b>2,506</b>                      | <b>4,796</b>                     |
| 営業外収益                                 | 576                               | 128                               | 547                              |
| 営業外費用                                 | 487                               | 933                               | 2,220                            |
| <b>経常利益又は経常損失(△)</b>                  | <b>△4,286</b>                     | <b>1,701</b>                      | <b>3,124</b>                     |
| 特別利益                                  | 5,556                             | 736                               | 2,243                            |
| 特別損失                                  | 2,089                             | 867                               | 3,575                            |
| <b>税金等調整前中間(当期)<br/>純利益又は中間純損失(△)</b> | <b>△819</b>                       | <b>1,570</b>                      | <b>1,792</b>                     |
| 法人税、住民税及び事業税                          | 1,087                             | 141                               | 274                              |
| 法人税等調整額                               | 1,051                             | △53                               | 358                              |
| 少数株主利益(減算)又は<br>少数株主損失(△)             | △150                              | △91                               | 360                              |
| <b>中間(当期)純利益又は<br/>中間純損失(△)</b>       | <b>△2,808</b>                     | <b>1,575</b>                      | <b>799</b>                       |

【損益計算書】

当中間連結会計期間の連結業績につきましては、(株)アトラス、(株)ワコー、(株)ブロッコリー等の業績が加わり、売上高は前年同期比8.1%増の496億8千4百万円、経常損失は42億8千6百万円(前年同期は経常利益17億1百万円)となり、これに(株)タカラアミューズメントの事業譲渡益等を加え、たな卸資産評価損等を控除して、中間純損失は28億8百万円(前年同期は中間純利益15億7千5百万円)となりました。

【キャッシュ・フロー計算書】

当連結中間期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して、46億9千7百万円減少し109億1千6百万円となりました。当中間期の営業活動によるキャッシュ・フローは、営業損失により、32億7千万円の支出となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは投資有価証券の売却による収入から同取得による支出及び玩具製造用金型、アミューズメント設備等の固定資産の取得による支出を差し引き24億8千6百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金増加等により7億8千万円の収入となりました。

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

| 科 目                         | (単位:百万円)                          |                                   |                                  |
|-----------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
|                             | 当中間期<br>自2004年4月1日<br>至2004年9月30日 | 前中間期<br>自2003年4月1日<br>至2003年9月30日 | 前 期<br>自2003年4月1日<br>至2004年3月31日 |
| I 営業活動による<br>キャッシュ・フロー      | △3,270                            | △2,523                            | 3,002                            |
| II 投資活動による<br>キャッシュ・フロー     | △2,486                            | △4,398                            | △2,921                           |
| III 財務活動による<br>キャッシュ・フロー    | 780                               | 2,283                             | 2,173                            |
| IV 現金及び現金同等物に<br>係る換算差額     | 219                               | △214                              | △267                             |
| V 現金及び現金同等物の<br>増加・減少(△)額   | △4,757                            | △4,853                            | 1,986                            |
| VI 新規連結に伴う現金及<br>び現金同等物の増加額 | 59                                | —                                 | —                                |
| VII 現金及び現金同等物の<br>期首残高      | 15,614                            | 13,627                            | 13,627                           |
| VIII 現金及び現金同等物の<br>期末残高     | 10,916                            | 8,774                             | 15,614                           |

剰余金計算書(要旨)

| 科 目             | (単位:百万円)                          |                                   |                                  |
|-----------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
|                 | 当中間期<br>自2004年4月1日<br>至2004年9月30日 | 前中間期<br>自2003年4月1日<br>至2003年9月30日 | 前 期<br>自2003年4月1日<br>至2004年3月31日 |
| <b>●資本剰余金の部</b> |                                   |                                   |                                  |
| 資本剰余金期首残高       | 5,595                             | 5,595                             | 5,595                            |
| 資本剰余金中間期末(期末)残高 | 5,595                             | 5,595                             | 5,595                            |
| <b>●利益剰余金の部</b> |                                   |                                   |                                  |
| 利益剰余金期首残高       | 1,907                             | 1,806                             | 1,806                            |
| 利益剰余金増加         |                                   |                                   |                                  |
| 1.中間(当期)純利益     | —                                 | 1,575                             | 799                              |
| 2.子会社の減少に伴う増加額  | 21                                | —                                 | —                                |
| 利益剰余金減少高        |                                   |                                   |                                  |
| 1.中間(当期)純損失     | 2,808                             | —                                 | —                                |
| 2.配当金           | 436                               | 436                               | 699                              |
| 利益剰余金中間期末(期末)残高 | △1,315                            | 2,945                             | 1,907                            |

【剰余金計算書】

少子高齢化の定着する市場環境下、既存概念にとらわれず市場と需要を創造していくことをメーカーの使命と位置づけ、恒常的な業績向上と企業価値の最大化に専心してまいります。安定した利益計上を第一義として投資と経費を精査選択してまいります。内部留保の充実と継続的かつ適正な利益配分を行える企業体質への転換を図ってまいります。

貸借対照表(要旨)

| 科目                    | (単位:百万円)               |                        |                      |
|-----------------------|------------------------|------------------------|----------------------|
|                       | 当中間期<br>(2004年9月30日現在) | 前中間期<br>(2003年9月30日現在) | 前期<br>(2004年3月31日現在) |
| <b>●資産の部</b>          |                        |                        |                      |
| <b>I 流動資産</b>         | <b>21,085</b>          | <b>28,311</b>          | <b>25,009</b>        |
| 現金及び預金                | 2,260                  | 3,702                  | 4,576                |
| たな卸資産                 | 5,403                  | 5,650                  | 5,780                |
| その他                   | 13,421                 | 18,958                 | 14,651               |
| <b>II 固定資産</b>        | <b>27,239</b>          | <b>24,556</b>          | <b>27,241</b>        |
| <b>有形固定資産</b>         | <b>7,995</b>           | <b>7,944</b>           | <b>7,821</b>         |
| 建物                    | 3,018                  | 3,059                  | 3,058                |
| 工具器具備品                | 2,337                  | 2,221                  | 2,122                |
| 土地                    | 2,458                  | 2,458                  | 2,458                |
| その他                   | 180                    | 204                    | 181                  |
| <b>無形固定資産</b>         | <b>909</b>             | <b>495</b>             | <b>740</b>           |
| 投資その他の資産              | 18,334                 | 16,116                 | 18,679               |
| <b>III 繰延資産</b>       | <b>7</b>               | <b>23</b>              | <b>15</b>            |
| <b>資産合計</b>           | <b>48,332</b>          | <b>52,891</b>          | <b>52,266</b>        |
| <b>●負債の部</b>          |                        |                        |                      |
| <b>I 流動負債</b>         | <b>17,089</b>          | <b>14,653</b>          | <b>13,435</b>        |
| 買掛金                   | 2,431                  | 3,706                  | 2,723                |
| 短期借入金                 | 9,910                  | 6,280                  | 5,880                |
| その他                   | 4,747                  | 4,667                  | 4,832                |
| <b>II 固定負債</b>        | <b>8,673</b>           | <b>8,730</b>           | <b>8,932</b>         |
| 社債                    | 7,000                  | 7,000                  | 7,000                |
| 長期借入金                 | —                      | 380                    | 190                  |
| その他                   | 1,673                  | 1,350                  | 1,742                |
| <b>負債合計</b>           | <b>25,762</b>          | <b>23,384</b>          | <b>22,368</b>        |
| <b>●資本の部</b>          |                        |                        |                      |
| <b>I 資本金</b>          | <b>18,121</b>          | <b>18,121</b>          | <b>18,121</b>        |
| <b>II 資本剰余金</b>       | <b>5,595</b>           | <b>5,595</b>           | <b>5,595</b>         |
| <b>III 利益剰余金</b>      | <b>386</b>             | <b>6,438</b>           | <b>6,590</b>         |
| 利益準備金                 | 13                     | 13                     | 13                   |
| 任意積立金                 | 5,500                  | 4,500                  | 4,500                |
| 中間(当期)未処分利益又は未処理損失(△) | △5,126                 | 1,924                  | 2,077                |
| <b>IV 土地再評価差額金</b>    | <b>△1,494</b>          | <b>△1,189</b>          | <b>△1,493</b>        |
| <b>V その他有価証券評価差額金</b> | <b>45</b>              | <b>625</b>             | <b>1,169</b>         |
| <b>VI 自己株式</b>        | <b>△84</b>             | <b>△84</b>             | <b>△84</b>           |
| <b>資本合計</b>           | <b>22,569</b>          | <b>29,506</b>          | <b>29,898</b>        |
| <b>負債及び資本合計</b>       | <b>48,332</b>          | <b>52,891</b>          | <b>52,266</b>        |

損益計算書(要旨)

| 科目                           | (単位:百万円)                          |                                   |                                 |
|------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
|                              | 当中間期<br>自2004年4月1日<br>至2004年9月30日 | 前中間期<br>自2003年4月1日<br>至2003年9月30日 | 前期<br>自2003年4月1日<br>至2004年3月31日 |
| <b>売上高</b>                   | <b>23,312</b>                     | <b>34,716</b>                     | <b>68,287</b>                   |
| 売上原価                         | 18,513                            | 25,601                            | 49,978                          |
| 売上総利益                        | 4,798                             | 9,115                             | 18,309                          |
| 販売費及び一般管理費                   | 8,429                             | 7,255                             | 15,558                          |
| <b>営業利益又は損失(△)</b>           | <b>△3,631</b>                     | <b>1,860</b>                      | <b>2,750</b>                    |
| 営業外収益                        | 1,025                             | 467                               | 1,147                           |
| 営業外費用                        | 108                               | 575                               | 591                             |
| <b>経常利益又は損失(△)</b>           | <b>△2,714</b>                     | <b>1,752</b>                      | <b>3,306</b>                    |
| 特別利益                         | 1,568                             | 639                               | 1,694                           |
| 特別損失                         | 3,563                             | 750                               | 2,526                           |
| <b>税引前中間(当期)純利益又は純損失(△)</b>  | <b>△4,708</b>                     | <b>1,641</b>                      | <b>2,474</b>                    |
| 法人税、住民税及び事業税                 | 7                                 | 10                                | 20                              |
| 法人税等調整額                      | 1,037                             | —                                 | 399                             |
| <b>中間(当期)純利益又は純損失(△)</b>     | <b>△5,752</b>                     | <b>1,631</b>                      | <b>2,055</b>                    |
| 前期繰越利益                       | 625                               | 293                               | 293                             |
| 中間配当額                        | —                                 | —                                 | 271                             |
| <b>中間(当期)未処分利益又は未処理損失(△)</b> | <b>△5,126</b>                     | <b>1,924</b>                      | <b>2,077</b>                    |

＊新商品情報＊



当社では、「リカちゃん」と並ぶタカラオリジナルの女兒キャラクターである「こえだちゃん」をNEW「こえだちゃん」として復活させ、自然をテーマにした企業キャラクターとして採用し、人形付ハウス玩具「こえだちゃんの木のおうち」シリーズを2004年9月に新発売いたしました。

「こえだちゃん」は、1977年(昭和52年)に誕生し、自然あふれるファンタジックな世

界観と、その中の“木のおうち”にくらす主人公「こえだちゃん」の愛くるしさが、多くの子どもたちに支持を受けたオリジナル女兒キャラクターです。シンボル商品「こえだちゃんの木のおうち」は、同年7月に発売されました。以来4回のリニューアルと約3年の空白を経て、1993年まで約16年間にわたり発売され大ヒットを記録した商品シリーズです。



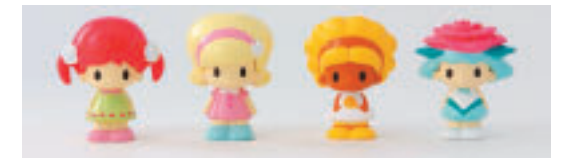
◇「こえだちゃんの木のおうち」 税込価格: ¥5,229 発売中(2004.9.16～)  
©TAKARA CO.,LTD.2004



◇「きのちゃんときこのレストラン」 税込価格: ¥3,129 発売中(2004.9.16～)  
©TAKARA CO.,LTD.2004



◇「こりんごちゃんときこのりんごの木のおうち」 税込価格: ¥2,310 発売中(2004.9.16～)  
©TAKARA CO.,LTD.2004



◇「おはなのおともだち」 税込価格: ¥1,029 発売中(2004.9.16～)  
©TAKARA CO.,LTD.2004



「みどりのくにのこえだちゃん」TV番組化・放送中



- ＊放送概要＊**
- ◇番組名 「みどりのくにのこえだちゃん」
  - ◇放送局 テレビ東京系6局ネットワーク(テレビ大阪・テレビ愛知・TVQ九州放送・テレビ北海道・テレビせとうち)
  - ◇放送期間 2004年10月～2005年3月
  - ◇放送開始 2004年10月4日(月)
  - ◇放送時間 毎週(月)～(金) 午前6:40～6:45

当社では今回の復活に際し、「こえだちゃん」を通して、“自然との調和”“やさしさ”などの玩具メーカーとして大切にしていきたいメッセージを、21世紀を担う子どもたちに向けて発信してまいります。「こえだちゃん」の様々な商品展開に加えて、当社のTVCMにおける企業CIとして活用するなど、TV番組化だけでなく、「こえだちゃん」は様々な展開をしてまいります。

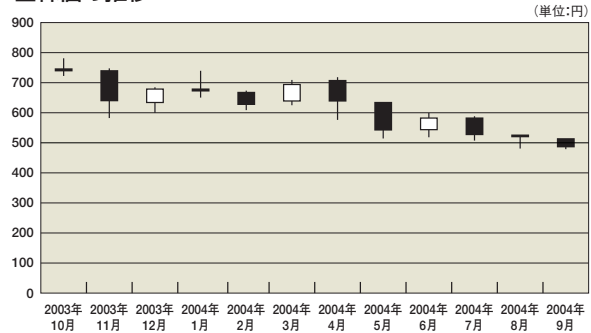
■株式の状況

会社が発行する株式の総数.....170,000,000株  
 発行済株式総数 .....90,462,244株  
 株主数 .....34,233名

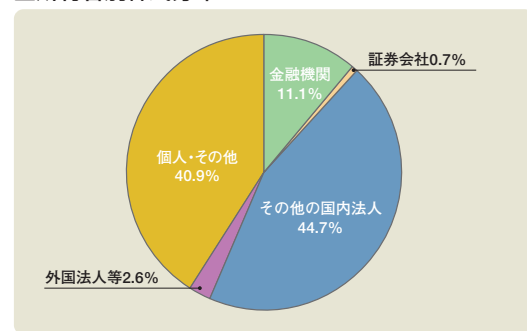
■大株主

| 株主名                           | 当社への出資状況 |          |
|-------------------------------|----------|----------|
|                               | 持株数(千株)  | 議決権比率(%) |
| コナミ株式会社                       | 20,104   | 23.0     |
| 株式会社 ティーエイケイ                  | 12,716   | 14.6     |
| 株式会社タカラアミューズメント               | 3,000    | -        |
| 財団法人日本玩具文化財団                  | 2,200    | 2.5      |
| 日本マスタートラスト<br>信託銀行株式会社(信託口)   | 1,943    | 2.2      |
| 株式会社みずほ銀行                     | 1,889    | 2.2      |
| 日本トラスティ・サービス<br>信託銀行株式会社(信託口) | 907      | 1.0      |

■株価の推移



■所有者別株式分布



■株主に対する特典

2005年3月期 株主に対する特典  
 2005年3月末現在100株以上をご所有の株主に対し、当社人気キャラクターの株主限定オリジナル商品セット(非売品)を贈呈予定

★例：2004年3月期

- 1,000株以上所有 ●オリジナルリカちゃん(5,000万体制記念デザイン仕様)1体
- オリジナルチョコQ(Q-CAR「U」スペシャル限定カラー仕様)1台
- オリジナル人生ゲーム(発売35周年サンクス記念仕様)



100株以上1,000株未満所有 ●オリジナルチョコQ(Q-CAR「U」スペシャル限定カラー仕様)1台



■会社概要

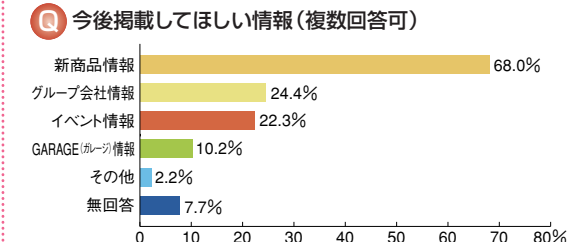
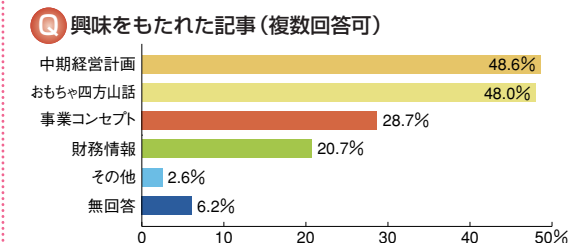
- 本社所在地 〒125-8503 東京都葛飾区青戸4丁目19番16号  
TEL 03-3603-2131 (代表)
  - 設立年月日 1955年9月17日
  - 資本金 181億2,169万5,096円(2004年9月30日現在)
  - 従業員数 567名(2004年9月30日現在)
  - 役員
 

|        |         |        |
|--------|---------|--------|
| 代表取締役  | 執行役員社長  | 佐藤 慶太  |
| 取締役    |         | 奥出 信行  |
| 取締役    | 執行役員副社長 | 館野 登志郎 |
| 取締役    |         | 眞下 修   |
| 取締役    |         | 木谷 高明  |
| 常勤監査役  |         | 永田 昭彦  |
| 常勤監査役  |         | 野沢 武一  |
| 監査役    |         | 竹内 昭司  |
| 監査役    |         | 水戸 重之  |
| 監査役    |         | 野上 順   |
| 監査役    |         | 大沼 昇   |
| 専務執行役員 |         | 水谷 英次  |
| 専務執行役員 |         | 綿引 民雄  |
| 常務執行役員 |         | 田中 紘一郎 |
| 常務執行役員 |         | 久保 亮三  |
| 執行役員   |         | 細屋 憲雄  |
| 執行役員   |         | 岩田 松雄  |
| 執行役員   |         | 須佐 謙一  |
| 執行役員   |         | 小林 弘志  |
| 執行役員   |         | 渡辺 洋子  |
| 執行役員   |         | 黒木 健一  |
- (2004年9月30日現在)

■アンケート結果の報告

前期事業報告書よりスタートしました株主アンケートですが、多数の株主の皆さまから貴重なご意見・ご感想をいただきました。誠に有難うございました。いただきましたご意見・ご感想はできる限り本誌上に反映し、今後の経営・事業運営に活かすよう努めてまいります。今後とも本アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

第50期事業報告書アンケート結果  
 743通(回答率2.5%)(一部抜粋)



\* 第51期中間事業報告書では上記結果をお受けし、掲載情報として新商品情報のページを設けさせていただきます。なお、新商品情報につきましては当社ホームページでもご紹介しております。会社情報、IR情報をはじめイベント情報なども掲載しております。是非ご覧ください。

HPアドレス <http://www.takaratoys.co.jp/>

